

京都知恵産業創造の森 アドバイザー派遣事業 成果発表会 (2026.6.2)





 藤原製本株式会社

会社概要

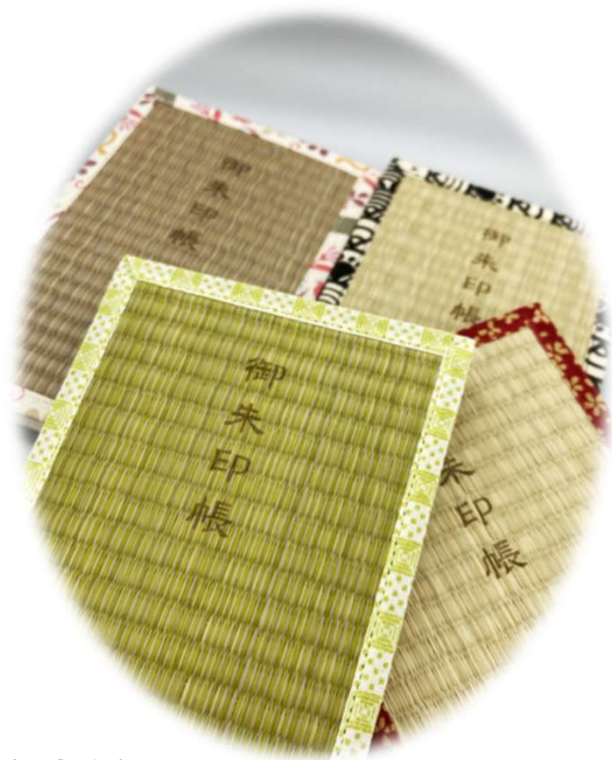
- ▶ 創業日 1949年
- ▶ 所在地 京都市西京区牛ヶ瀬新田泓町6
- ▶ 資本金 1500（万円）
- ▶ 従業員数 45名（2026年4月現在）

事業内容

- ▶ 印刷物の製本（教科書等の学参本、各種カタログ等）
- ▶ 製本工程
断裁⇒折り⇒丁合⇒貼り込み⇒綴じ（無線綴じ/中綴じ）
- ▶ 御朱印帳の作成 
- ▶ 京都文化博物館内 ミュージアムショップ
『Ququl(くくる)』の運営 
- ▶ オリジナル紙製品の企画・デザイン・販売(店舗/EC)

事業紹介

御朱印帳作成



事業紹介

京都文化博物館ミュージアムショップ Ququl



設備紹介

断裁機・折り機

▶ 断裁機



▶ 折り機

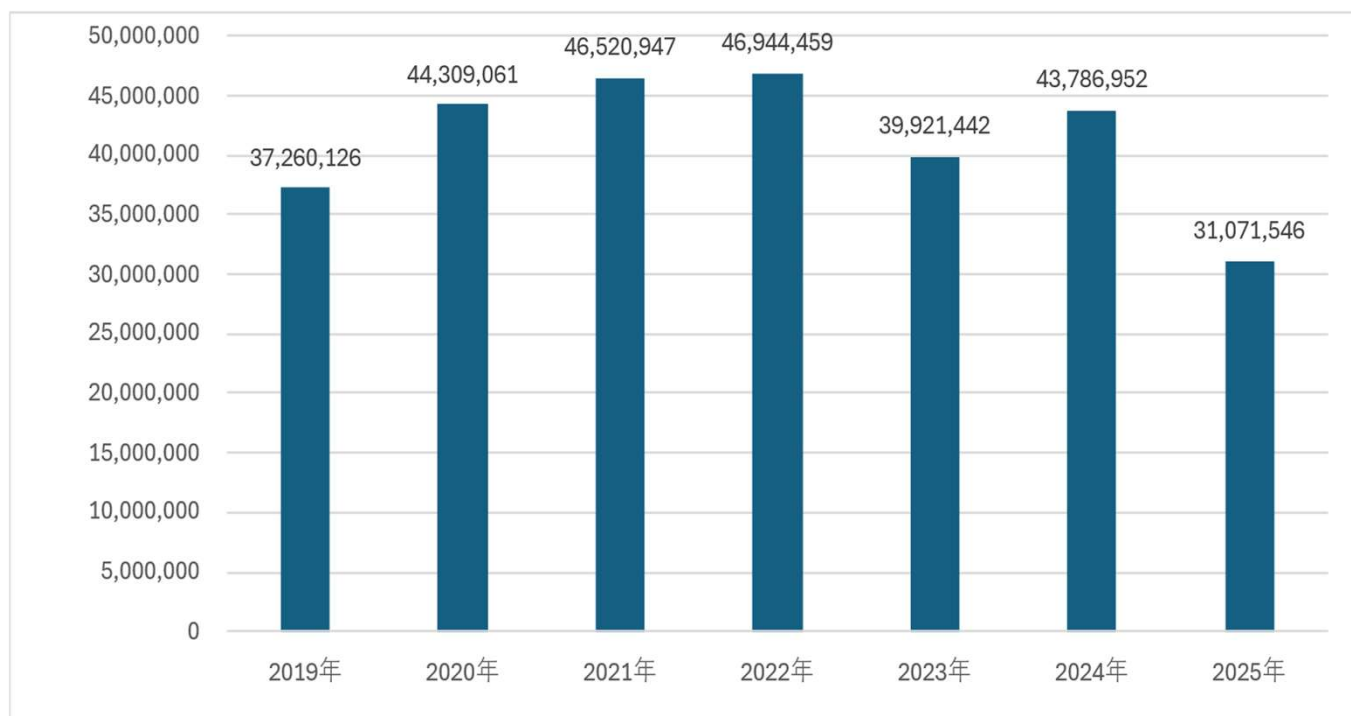


支援を受けた内容 (断裁・折加工の生産数UP)

- ▶ 折加工高のUP
- ▶ 内作率UPおよび外注費の削減
- ▶ 折機の前工程 断裁機 稼働率UP
- ▶ 稼働率を上げて、標準化・最適化を行う

折り加工生産枚数推移（2019年～2025年）

※2026年以降の目標：年間 5,000万枚



課題と対策

課題

- ▶ 準備作業、補助作業に時間がかかり、
機械の稼働率が上がっていないことがわかった。

対策

- ▶ 補助作業を減らすため2人作業を前提とした作業設計を行い、人材を確保し生産量上げる方策をとった。
- ▶ 準備作業を短縮するため作業前の仕掛り、作業後の仕掛りの場所を定置管理により明確にした。
- ▶ 断裁工程と折工程のタイミングを合わせ生産性を上げるため、流し方の采配を工夫する。

采配の見直し

流し方の采配により生産性を向上させる

采配の標準化として 熟練者の優秀な采配の方法を整理・標準化し
メンバーで共有することにより全体のレベルを上げる

[現状の熟練者のルール]

- ▶ 入荷状況を確認
- ▶ 納期の近いものを流す
- ▶ 仕様のシンプルなものを流す
- ▶ 折工程の負荷の大きいものを流す
- ▶ 複雑な仕様（調整工数大）を流す

まとめ

ネック工程である前工程（断裁工程、折工程）を対象として以下の取組みを実施した。

- ▶ 断裁工程でのカット作業の比率を上げる
- ▶ 2人作業を前提とした作業設計、人材の確保
- ▶ 仕掛置き場の整理と定置管理
- ▶ 折Gでの采配（投入順、折機への割振り）の標準化・展開

以上